

# 【小施策評価(令和元年度実績評価)】

## 小施策の総合計画における位置付け

|      |     |                  |                  |       |         |
|------|-----|------------------|------------------|-------|---------|
| 基本目標 | 1   | 人がいきいきと暮らすまちづくり  | 小施策<br>主管課等      | 長寿社会課 |         |
| 施策   | 3   | 高齢者福祉の充実         | 評価<br>責任者        | 千葉 信幸 | 内線 2550 |
| 小施策  | 3-2 | 高齢者の健康・生きがい対策の充実 | 評価<br>シート<br>作成者 | 山崎 剛  | 内線 2551 |

## 小施策の概要

|  |  |
|--|--|
| 現状と課題(総合計画実施計画から転記)  | 取組の方向性(総合計画実施計画から転記)   |
| 健康寿命の延伸や生活の質の向上の実現に向けて、高齢者の健康づくりと生きがいづくりに対し、多様な支援が求められている。意欲や能力のある高齢者が、スポーツや学習などの機会に参加し、これまでの知識や経験を生かして地域社会に参加していくことは、生きがいを持って生活することにつながる。高齢者の閉じこもり防止など、介護予防にも寄与するものである。元気な高齢者が、住民等を中心とした地域の支え合いの担い手として活動できるように、社会参加を促進するための方法について検討し、高齢者の社会参加を一層進める必要がある。 | 高齢者が健康で生きがいを持ち、安心していきいきとした生活を送ることができるように、健康寿命の延伸に向けた健康づくり、スポーツや学習などの機会の設定、介護予防のための事業に取り組むほか、高齢者が自らの経験と知識を生かし、地域の人々と支え合いながら、積極的に社会に参加・貢献できる生きがいのための事業を推進する。 |
| 対象(誰(何)を対象として行うのか)   | 意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)   |
| 60歳以上の市民   | 健康で生きがいを持って生活できる   |

## 小施策の成果指標の達成状況・評価(令和元年度実績)

| 実績値の推移   |     |       |   | 実績の評価   |  |
|--|-----|-------|---|---|--|
| 指標   | 単 位 | 目指す方向 | 成果点   | 成果の要因分析   | 問題点  |
| 指標① 生きがい活動をしている高齢者数(延べ人数)                        | 人   | ↗     | 当初値(H25) 241,563   R1目標値 260,000   R6目標値 265,000<br>                            | ・シルバーリハビリ体操推進事業を実施し、引き続き3級指導者を養成するとともに、2級指導者講習会への参加者の推薦を行った。<br>・養成した体操指導者を、指導者会と連携して地域の通いの場へ派遣し、住民主体の介護予防の取組を推進した。               | ・地域住民が主体となって介護予防を拡充するという事業の趣旨が、社会参加に意欲のある住民や、健康づくり・地域づくりに関心のある住民のニーズと合致していた。 |
|  |     |       | ・老人福祉センター等の利用者数が減少した。<br>・老人クラブの会員数が減少した。                                       | ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、老人福祉センター等の利用や老人クラブ活動が自粛されたことによる。<br>・高齢者の生きがい活動の場のニーズが多様化している。   |  |
| 指標② シルバー人材センター登録率(市内の60歳以上の人口に対するシルバー人材センター登録者数) | %   | ↗     | 当初値(H25) 1.10   R1目標値 1.16   R6目標値 1.21<br>                                     | ・シルバー人材センターへの令和元年度末の登録人数は864人であり、平成25年度末の当初値(770人)と比較して増加している。  | ・社会参加したい高齢者が増えているものと考えられる。   |
|  |     |       | ・シルバー人材センターへの登録人数及び登録率が単年度では減少した。<br>登録人数:平成30年度末916人→令和元年度末864人                | ・60歳以上の高齢者数の伸びが上回っていることによる。<br>・高齢者の生きがい活動の場のニーズが多様化している影響と推測される。   |  |
| 指標③ 老人スポーツ大会等への参加者数                              | 人   | ↗     | 当初値(H25) 6,009   R1目標値 6,400   R6目標値 6,500<br>                                  | ・毎年、各地区(市内27地区)において地区老人スポーツ大会が継続的に開催され、高齢者の健康増進が図られた。   | ・事業費に対し、市から補助金を交付していることにより、各地区の大会を継続的に運営につながっているものと考えられる。                    |
|  |     |       | ・老人スポーツ大会等への参加者数が減少した。<br>・夏季の事業実施の際、熱中症対策を講じなければならない。<br>・感染症予防対策等を講じなければならない。 | ・盛岡市老人スポーツ祭典の種目が2種目減ったことにより、参加選手が減少した。<br>・周知方法の問題や、開催時期が農繁期と重なる地区がある。<br>・気候の温暖化により夏季の高温時期が長くなっている。<br>・新型コロナウイルス感染症が世界的に流行している。 |  |

## 今後の方向性(令和2年度以降)

|  |                                    |
|--|------------------------------------|
| 評価を踏まえた取組の方向性  | ★…R2年度着手済または着手予定<br>☆…R3年度以降の着手を検討 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 住民主体の通いの場を充実させ、また高齢者の「活動」と「参加」の促進のために、シルバーリハビリ体操を引き続き推進し、体操指導者養成に取り組むとともに、地域の通いの場への指導者派遣を行う。</li> <li>☆1 毎年度、老人福祉センターでの介護予防の活動を実施する。</li> <li>☆2 シルバーリハビリ体操1級指導者を養成し、市単独で3級指導者養成講習会を実施する。(1級指導者養成は令和3年度、単独での講習会実施は4年度の見込み)</li> </ul> |                                    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 単に支えられる高齢者が増加するのではなく、担い手となる高齢者が増加するような事業を実施する。</li> <li>★ 住民支え合い型訪問サービスと、シルバー人材センターの協力について検討する。</li> </ul>  |                                    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 引き続き、各地区のスポーツ大会へ助成を行う。</li> <li>★ 熱中症対策として、盛岡市老人スポーツ祭典の参加者に経口補水液を配布した。</li> <li>★ 新型コロナウイルス感染症対策等を、継続して周知、実行する。</li> </ul>  |                                    |